

日本英語教育史学会 第 286 回 研究例会

日 時：2022 年 1 月 8 日（土）14：00～17：00

オンライン開催：申込方法については、学会ウェブサイト (<http://hiset.jp/>) 内の
「オンラインによる研究例会 参加方法」をご参照下さい。

○研究発表「若林俊輔の英語教育論：終期（東京外国語大学退官後）の特徴」

若有保彦（秋田大学）

【概要】本研究は「若林俊輔の英語教育論」の全体像及びその発展の過程を明らかにすることを目的としている。今回の発表では、若林が 1993 年 3 月に東京外国語大学を退官した後の時代を「終期」と定義し、この時期の論考、紙上討議やインタビューにおける発言を分析した結果を報告する。

○研究発表「臨時教員養成所卒業生の国家としての評価—他機関卒業生と比較して」

鈴木聡（鳥羽商船高等専門学校）

【概要】臨時教員養成所は設置期間が短いため具体的な資料に乏しく、やや偏った視点で受け取られがちである。赴任先においても高等師範卒業生が充足できない新設の中学校や高等女学校の供給先と考えられている。しかし、それはどこまで真実なのか。本例会では、筆者の祖父を含む臨時教員養成所卒業生に対する国の評価と他機関の卒業生の経歴を参照しながら考察していく次第である。

参加費： 無料

問合せ： 日本英語教育史学会 例会担当

reikai(at)hiset.jp (at)を @ に変えてください。